

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましよう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましよう。

() 月 日 曜日

たいこ岩登山

神山小学校 五年 平田 あかり

「はあはあよいしよよいしよ」。

つかれながら、歩いたのは、宿泊学習二日目の午前十時くらいだった。つかれているけどあともう少し。そのくらいのモチよリだった。その日の、天気は、今にも雨がふりそうな、天気だった。それでも、岩をたたきたいと、思い、必死にのぼった。わたしたちは、ルーパーだった。一番おそく進んでいたが、

イドさんのホンちゃん、水や木のことを、たくさん説明してくれた。ホンちゃんは、おもしろい人だった。山を登るのは、初めてだけれど、みんな成いて、心強くなった。きけんな山道のところもあって大変だった。そしてさるも見えた。ホンちゃんの説明をしてくれただとこでの一番、おもしろかったのが、「ヒメシヤラ」という木だ。耳をかたおけてみると水の音がするという木なんだそうだし、みんなはその説を聞いて、

3 詩ほどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましよう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましよう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

「本当？」
と、うたがいながらも、耳を、あてた。そし
たら、サーサという音が聞こえた。でも、そ
の近くには、川がある。だからみんな、
「川の音なんじゃない？」
と、ぎもんに思っていた。でも、こんなにも
たくさん木の種類があることを、白谷雲永峡
ヤホンちゃんに教えてくれた。
「さあ、のこりは、さいごのかべ、あと一歩と
いうかべだ。その、あと一歩は、足もとでも
きつくて、体もしんどい。うたいだ。た。
それをこらえてついにちよう上にきた。そこ
でもなぜ岩はたいこのような音をするのか、
ホンちゃんに教えてくれた。それは、岩に空
気のそうがあるから、音がなるそうだ。その
ときは、みんな、夢中でたたいた。そして、
みんなでこうさげんだ。
「ヤッホー」
と、その声は、山中に広がった。わたしは
思っている。そして、また、たいこ岩に登り

3 詩ほどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

た い と も 思 っ た 。 わ た し に と っ て 、 あ の 、
 思 い 出 は 、 い い 思 い 出 だ っ た 。

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

